



一般社団法人ITC-Pro東京 設立発表会

<次第>

- 15:00 会長挨拶および今後の事業戦略
ITC-Pro東京代表理事兼会長 阿部 満
- 15:30 来賓ご挨拶
- 15:50 ご講演:「ITCビジネスの今後の可能性」
～スマートものづくり、スマートファイナンスへのチャレンジ～
一般社団法人クラウドサービス推進機構 代表理事 松島 桂樹 様
- 16:20 今後の会運営のご説明・副会長・事務局長挨拶
- 16:40 閉会

<懇親会>

- 17:30 チーム紹介
- 19:30 中締め

アンケート(質問・ご意見/チーム希望等)はこちら



代表理事あいさつ

8月1日の一般社団法人ITC-Pro東京設立時に代表理事に就任いたしました阿部満です。よろしくお願いいたします。

この度、会員をはじめ各関係者の皆さまへご挨拶をさせていただきます。

私の主な経歴は富士ゼロックスと京セラIT関連企業の勤務後にITC協会の職員に約1年半勤務した後、ちょうど40歳で独立しました。

お蔭様で今年で10年目を迎える事ができましたが終始一貫、中小企業向けのITコーディネータ業務や講演と執筆活動を中心に行って参りました。

今回、一般社団法人ITC-Pro東京の設立に際して会員の皆さまに期待することは一言で『自主自立（じしゅじりつ）』の精神と活動です。

『自主自立』とは人から指示されなくとも自律的に活動できる人または組織のことを指します。

この自主自立精神の想いはかつて私が所属していた独立系の組織を見てきて感じてきた想いで、組織に所属する会員は自主自立的な活動せずに数名の優秀な独立者の親鳥が自主自立できない子供の小鳥に餌を与える風景ばかりでした。

ITC-Pro東京はそれらの組織とは一線を画している組織として完全に自主自立のプロ組織を目指しました。

ITC-Pro東京は組織的に理事会を頂点に部門、チーム、プロジェクトがありそれぞれのチームはチームリーダーとサブリーダーが自主的に戦略を練り活動していくことで案件の顕在化を行いプロジェクト単位で採算を上げるアメーバ経営体制になっております。

ITC-Pro東京の会員は主に専門的な知識を持つ独立者やですが一人では決して対応できない案件が世にはたくさんあります。そして個人に相談を頂いても自分の専門以外や規模の大きな案件ですとお断りをしたりしています。

そこでITC-Pro東京ではそれらの相談をそれぞれの部門の配下の専門チームに相談するだけでプロジェクトを作り対応することが可能としました。また自身もその組織に関与することも可能です。

チームは時に連携会員も含めて連携しあうことでさらに複雑で高度な仕事をこなすことも可能です。

世の中小企業は380万社と言われております。私たちITC-Pro東京は関東地区を中心に行っている組織ですが、今後は全国展開も検討しております。

このように私たちITC-Pro東京はITコーディネータ組織の中核組織として将来会員数300名を目指し活動範囲を広げて参ります。

是非、当会の会員になって頂き一緒に活動して参りましょう。

一般社団法人ITC-Pro東京
代表理事 阿部 満

2017年9月吉日



「ITC-Pro東京」とは、東京地区において中小企業の経営課題の相談からIT活用による成果の実現までワンストップで支援できる、ITコーディネータを核とした各分野の専門家ネットワークです。

ミッション

1. 中小企業の経営課題を経営者に寄り添った支援を通じて、経営の視点から解決します。
2. 金融機関や行政などからの支援要請に幅広くこたえ、地域の産業振興にも貢献します。
3. 他の中小企業支援者とも連携し、中小企業によりよい成果が出せるようにします。
4. プロフェッショナルとして通用するITCを養成します。
5. 中小企業経営者にIT経営を啓もうします。そのための事例紹介や成果を出すための要員の学習などの機会を提供します。

設立の背景

現在の時代背景、中小企業を取り巻く環境、中小企業のIT活用の実態として以下のような現実があり、それを解決するための組織として設立しました。

今後、中小企業は生産性を高めなければ事業を継続できない状況になっている。（日本生産性本部の2016年12月の発表によれば、日本の一人当たりの労働生産性は、米国の6割程度で、ここ20年、差は広がっている。OECD35カ国中22位、先進7カ国中最下位）

- 生産性の低い要因の一つが、ITの活用が十分でないことにある。
- IT技術が発展し、中小企業にも使いやすい状況になってきた。また、国の政策としても中小企業のIT活用に力を入れてきている。
- ITをただ導入しても効果が出ていなかったり、かえって手間が今までよりも増えたりしている例も少なからずある。
- 中小企業の実産性を高めるためには、効果的なIT導入だけでなく、各々の企業に合わせた業務改善や組織的業務遂行の基盤を作ることが必要である。
- そのような事業戦略の実現を支援するために、プロフェッショナル性をもったITC等が活躍することが求められている。

支援姿勢

「ITC-Pro東京」の支援は、以下の姿勢で行います。

- 成長を目指す中小企業経営者に寄り添い、現実的な対応を行う。
- まずは、直面している課題を解決することを優先して行う。
- 日々進歩するIT技術の活用精通し、今とこれからにとって最善の方策を取る。
- ITを導入して終わりではなく、業務改善や組織的な業務遂行をできるようになるまで責任をもって行う。
- 理論を述べる先生ではなく、それぞれの企業の状況に合わせて内容にまで踏み込んで支援を行う。アドバイスして終わりではなく、成果を上げるまで一貫して行う。
- プロフェッショナルとしてのパフォーマンスとクオリティを確保できるように組織的対応を行う。

また、ミッションを達成するために組織として以下の機能を持ちます。

レビュー機能： 成果を保証していくための品質レビュー機能
窓口機能： 金融機関や行政からの受け皿となるための窓口機能
連携機能： 他の専門家とのネットワークを築くための連携機能
インターン機能： 経験の浅いITCを育てていくためのインターン機能



一般社団法人ITC-Pro東京 今後の会運営のご説明 (会員制度細則と案件運営細則)

平成29年9月17日

理事兼副会長 谷 巖
理事兼事務局長 用松 節子



一般社団法人 ITC-Pro東京
IT Coordinators Professional Tokyo Association

会員規定 第3章 入会と仮会員 / 第4章 会費



一般社団法人 ITC-Pro東京
IT Coordinators Professional Tokyo Association

一般社団法人ITC-Pro東京の会員は以下の4種類となりそれぞれの会費とオプションがあります。それぞれの会員ニーズによって関与方法が選択できます。

会員	会員規定	会費	オプション
仮会員	6ヶ月間は仮会員となります。その後、理事会の承認を得て、各種の会員になれます。	無料	無し
ビジネス会員	独立系ITCで、ビジネス目的で活動する方 (仮会員期間の実績を考慮)	入会金：5,000円 年会費：10,000円	無し
一般会員	企業内ITC等で、将来ITC-Pro東京でビジネスを行いたい方	入会金：5,000円 年会費：無料	有り
連携会員	ITC以外の士業または法人等	無料	有り

会員制度のオプション



一般社団法人 ITC-Pro 東京
IT Coordinators Professional Tokyo Association

チームに属することができるのは基本的にビジネス会員のみですが、
その他の会員もチームに属したりして活動できるようにオプションを用意しました。

<一般会員のオプション>

オプション	内容	年会費
オプション1	チームに属して活動できる(インターンも含む)	20,000円

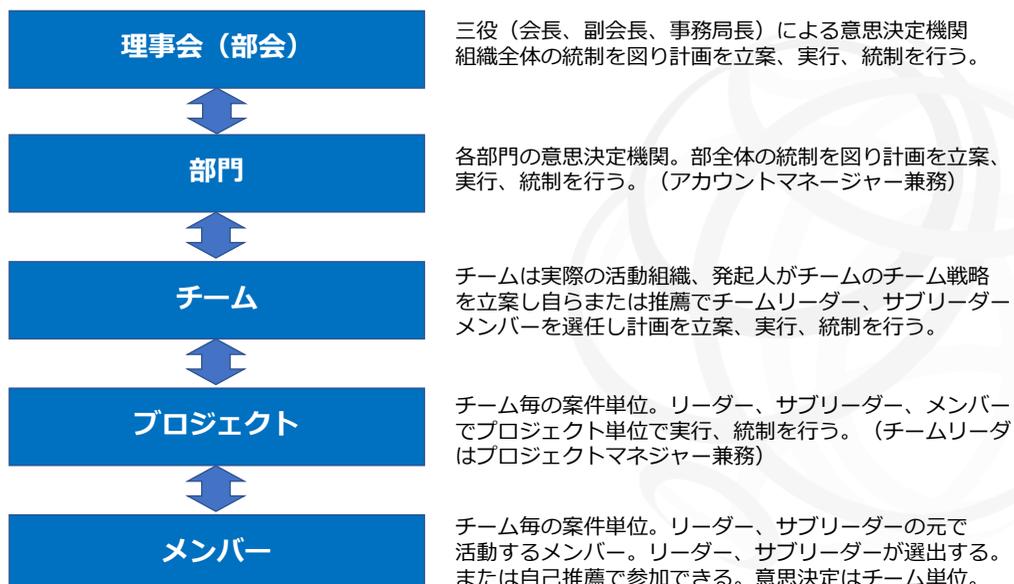
<連携会員のオプション>

オプション	内容	年会費
オプション1	チームに属して活動できる	20,000円
オプション2	自社の製品・サービスを当法人と共に広げていく活動をする(当法人のHPにバナーを張れます)	30,000円
オプション3	チームに属さないで、当法人の案件の外注先になる	30,000円

一般社団法人ITC-Pro東京の活動組織



一般社団法人 ITC-Pro 東京
IT Coordinators Professional Tokyo Association



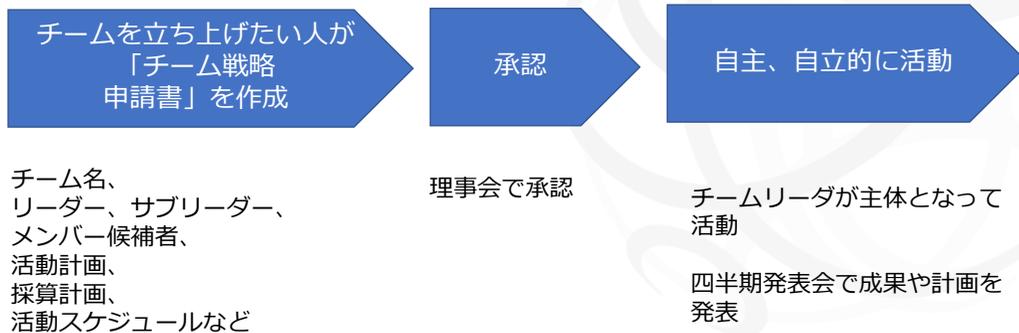
チーム

第2章 活動組織形態



一般社団法人 ITC-Pro東京
IT Coordinators Professional Tokyo Association

チームは、ITC-Pro東京の活動単位です。
 チームは自主自立的に計画を立て、実行していきます。
 チームは、チームリーダー、サブリーダー、チームメンバーで構成されます。
 当組織で活動したい方は、チームに属してください。
 一人が複数のチームに属することができます。
 新しいチームを立ち上げたい方は、チーム戦略を立案して承認されれば活動できます。



Copyright 2017 ITC-Pro Tokyo. All rights reserved.

4

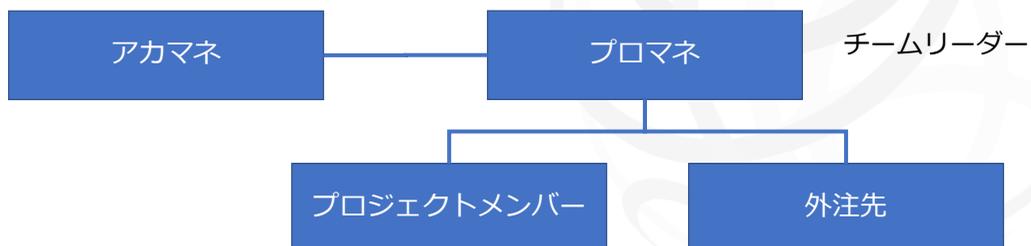
プロジェクト

第3章 個別案件遂行体制



一般社団法人 ITC-Pro東京
IT Coordinators Professional Tokyo Association

チーム活動により個別案件を受注できた場合は、プロジェクトとして管理します。
 プロジェクトは、プロマネ、アカマネ、プロジェクトメンバー、その他外注先で構成されます。
 プロジェクトの構成員は、そのチームに属している人から選ばれます。
 プロジェクトの遂行は、プロマネが責任をもって行います。
 インターン生として参加できる制度もあります。



プロジェクトメンバー、外注先はチームに属している会員から選ぶ

Copyright 2017 ITC-Pro Tokyo. All rights reserved.

5

四半期発表会



一般社団法人 ITC-Pro東京
IT Coordinators Professional Tokyo Association

四半期ごとに、チーム活動や成果を発表する会を開きます。
この会では、他のチームの活動状況や計画を聞き活発な議論をしていきます。
次回は来年1月です。
次々回の来年4月は新年度の事業計画の発表になります。

* 普段の活動はチーム単位で行いますが、
他のチームの活動や新しくチームを立ち上げる立案のために
部単位のチーム戦略会議も開いていきますので参加ください。

<ITC三方よし新聞>

広報のために、「ITC三方よし新聞」を発行していきます。

構成は、
（第1面） トピックス、コラム、
（第2面） 連携会員紹介、
（第3面） ITC会員紹介（2名）、
（第4面） 活動状況その他お知らせが基本形になります。

一般社団法人 ITC-Pro 東京 会員制度細則

第1章 総則

(目的)

第1条 この細則は当法人の会員制度に必要な事項を定める。

第2章 会員

(会員の種類)

第2条 会員の種類は、ITC会員、連携会員、パートナー会員とする。

(ITC会員)

第3条 ITC会員は、ITコーディネータの資格を持っているものとする。

2. ITC会員は、当法人内で案件の発掘から対応に取り組んでいくビジネス会員とそれ以外の一般会員に分かれる。

3. ビジネス会員は、独立系のITCで実績を上げている者なることができる。独立系のITCとは、自身の法人を持っている者または個人事業主をいう。

(連携会員)

第4条 連携会員はITC以外で、当法人と連携する法人・団体、及び専門家等とする。

(パートナー会員)

第5条 パートナー会員は、一般社団法人法でいう社員とする。

第3章 入会と仮会員

(仮会員)

第6条 入会の申し込み後、半年間は仮会員とする。

2. 仮会員期間中は、会費は発生しない。

(入会)

第7条 半年後、理事会の承認により各種の会員になることができる。

第4章 会費

(入会金)

第8条 ビジネス会員と一般会員は入会金を5,000円とする

2. 連携会員は入会金を無料とする。

(年会費)

第9条 ビジネス会員は年会費10,000円、一般会員は年会費無料とする。

2. 連携会員は年会費無料とする。

3. 一般会員のオプションとして、チームに属する場合は年会費20,000円とする。

4. 連携会員のオプションとして、チームに属する場合は年会費20,000円とする。自社の製品・サービスを当法人と共に広めていきたい連携会員は年会費30,000円とする。この場合には当法人のHPにバナーを張ることができる。チームに属さないで当法人の案件の外注先になる連携会員は年会費30,000円とする。

(年会費の有効期限)

第10条 初回は、仮会員の期限が切れる入会申し込みから半年後の月の月末までに次年度の年会費を

振り込む。振込期限の1ヶ月前までに入会の可否及び、どの種類の会員になるかを本人に知らせる。

2. 次年度は期限が切れる月の翌月から12ヶ月とする。
3. 次回以降は、期限が切れる月の月末までに次年度の年会費を振り込む。

第5章 退会・除名

(退会)

第11条 各種の会員及び仮会員を退会したい者は、理事に対して書面（メールを含む）にて通知する。

2. 退会するものは、特にプロジェクトに携わっている場合などは、他のメンバーに迷惑をかける期間をおいて退会日を決めなければならない。
3. 退会者の年会費は払い戻しをしない。
4. 退会するものが当法人に対して損害を与えた場合は、賠償しなくてはならない。

(除名)

第12条 会員は、「プロフェッショナルとして質の高いサービスを顧客や世間に対して提供し、信頼を得ていく」、「プロフェッショナルとして自主的に仕事を進め、成果を出し結果に責任を持つ」という理念を共有しなければならない。

2. 理念を共有しない言動を行った場合や、当法人の活動を妨げるような言動をした場合には、理事会の決議によって除名する。
3. 除名者の年会費は払い戻さない。
4. 除名されたものが当法人に対して損害を与えた場合は、賠償しなくてはならない。

第6章 名刺

(名刺の保持)

第13条 ビジネス会員は、当法人の名刺を使用できる。

2. 住所、メール、電話は自分の事業所とする。
3. 部署名は記入しない。リーダーは自分のリーダー名を記入する。
4. 印刷は各自行う。費用は自己負担で行う。

第7章 附則

(改訂)

第14条 この細則は、登記の日から施行する。また、理事会の決議をもって改訂できる。

2017年8月1日 施行

一般社団法人 ITC-Pro 東京 案件運営細則

第1章 総則

(目的)

第1条 この細則は当法人の案件運営に必要な事項を定める。

(案件とは)

第2条 ここでいう案件とは、当法人が契約したものいう。当法人が契約しない、会員企業が独自に行うものは含まれない。

第2章 活動組織形態

(構成)

第3条 理事会のもとに各部門を設ける。

2. 部門のもとに各チームを設ける。各チームに、チームリーダー、サブリーダー、チームメンバーを定める。

(役割)

第4条 部門は、各部門の意思決定機関である。部全体の統制を図り計画を立案、実行、統制を行う。

2. チームは実際の活動組織である。発起人がチームのチーム戦略を立案し自らまたは推薦でチームリーダー、サブリーダー、チームメンバーを選任し計画を立案、実行、統制を行う。

(チームの新設・解散)

第5条 チームを新しく作りたい場合は、発起人がチーム戦略を立案し、部長及び三役の承認により作ることができる。

2. 既存のチームが業績を上げられない場合は、部長はそのチームを解散するか、チームリーダー、サブリーダー等を交代させる判断を行う。

第3章 個別案件遂行体制

(プロジェクト)

第6条 個別案件を受注した場合には、プロジェクトとして遂行する。

2. プロジェクトごとにプロジェクトマネージャー（以下プロマネと呼ぶ）を置く。プロジェクトメンバーのアサイン、進捗管理や調整等も含めプロジェクト遂行は全てプロマネの責任のもとで行う。

3. 顧客との窓口のためにアカウントマネージャー（以下アカマネと呼ぶ）を置く。アカマネは部長がなる。

(外注等との契約)

第7条 個別案件の遂行の中で、外注等との契約が発生する場合は、プロマネ（の会社）の責任のもとでプロマネ（の会社）が外注等との契約をする。

2. 外注先等とのトラブル処理を含め調整等は全てプロマネ（の会社）が行う。当法人は関与しない。

(品質の保証)

第8条 当法人は理念を達成するために、顧客に対してプロフェッショナルな仕事を提供することをコンセプトに設立されている。したがってアウトプットの品質を保証することは当法人の原点である。

2. プロマネはプロジェクトの品質を常に保つように心がける。もし品質を保てない状態が発生した場合には、部長及び三役に報告し、適切な処置を行う。

3. アカマネは顧客からのフィードバックを定期的にとるように心がける。もし品質を保てない状

態が発生した場合には、三役に報告し、適切な処置を行う。

第4章 承認

(承認行為)

第9条 見積書、注文書（必要な場合は請書）、業務委託契約書（委任契約書）、その他当法人に関連する書類に対して指定のフォーマットを使用し、承認を得る。

(承認ルート・承認印)

第10条 承認ルートは、担当者、チームリーダー、部長、会長（金額300万円以上）とする。

2. 承認印は各自の認印を使用する。外部に出す際には角印を押印する。角印は会長が所持する。

第5章 経理

(締めサイト)

第11条 当法人の締めサイトは、月末締翌月末現金振込払いとする。

(入出金担当)

第12条 銀行口座管理、入金管理、その他経理処理は経理担当理事が行う。

第6章 配分

(法人への納付)

第13条 個別案件に対して、契約額の10%を当法人へ納付する。

2. 当法人は、入金額から契約額の10%を引いた額を、顧客からの入金があつてからプロマネ（の会社）からの請求書をもってプロマネ（の会社）に振り込む。ただし、振込額が100万円以下の場合は、振込手数料を控除した額を振り込む。

(プロジェクトメンバーの配分)

第14条 アカマネ、プロマネ、その他プロジェクトメンバー、外注先への配分は、アカマネがプロマネと協議して決める。

2. アカマネ、その他プロジェクトメンバー、外注先への支払いは、プロマネ（の会社）が行う。

第7章 インターン

(インターン制度)

第15条 当法人はITCを育成するためにインターン制度を設ける。

2. インターンになりたい者は、本人の希望及びプロマネの承認によりプロジェクトに従事することができる。インターンは該当のチームに属していなければならない。

3. OJTを行う際には、アカマネとプロマネはインターン生の経験やアウトプットを評価し、本人の現状の実力と達成目標を認識させ、自覚をもってプロジェクトに従事させるようにする。

4. インターン生には、報酬及びその他の経費は支払わない。インターン生から研修費を取るかどうか及びその金額は、アカマネとプロマネが協議して決め、インターン生と合意する。

第8章 附則

(改訂)

第16条 この細則は、登記の日から施行する。また、理事会の決議をもって改訂できる。

2017年8月1日 施行

ケース研修 チーム

チームリーダー：阿部 満 サブリーダー：用松 節子、新木 啓弘、栗原 篤史

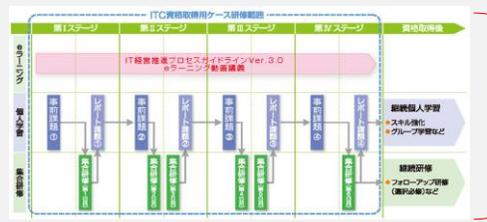
【チーム概要】

ITC-Pro東京にてケース研修を実施し今後、独立を目指すまたは独立後、ビジネス会員となるITCを育成、連携を図ることを目的とする。

初年度より一期、二期共に一次、二次の合計4回のITCケース研修に関して当チームにてケース研修の企画、実行、運営を行う。ケース研修終了後の受講生とは連携を図り、その後のフォローアップ研修、その他ITC-Pro東京で実施するオリジナル研修（無料、有料両方）に参加することでITC研修をワンストップで活動する。

将来的地域ITC組織との研修連携も図り東京を代表とするITCの育成、教育機関として活動する。

【ケース研修】



ケース研修終了後、ITC-Proにてワンストップでフォローアップ研修、オリジナル研修などを用意。

同時に独立に向けてのOff-JTによる独立支援などのサポートもITC-Pro東京としてITC協会と連携をしながら進めて参ります。

フォローアップ研修 チーム

チームリーダー：阿部 満 サブリーダー：用松 節子、井上 研一

【チーム概要】

ITC-Pro東京にてフォローアップ研修を企画、提案、実施を行う。またITC協会認定研修（委託型）独自でITC協会認定で実施を行う。

今後、当ITC-Proのケース研修受講者やITC協会と窓口契約を行いフォローアップ研修を行う。

フォローアップ研修終了後の受講生とは連携を図り、その後のITC-Pro東京で実施するオリジナル研修（無料、有料両方）に参加することでITC研修をワンストップで活動する。

将来的地域ITC組織との研修連携も図り東京を代表とするITCの育成、教育機関として活動する。

【フォローアップ研修】



フォローアップ研修、ITC-Proにてワンストップでオリジナル研修などを用意。

同時に独立に向けてのOff-JTによる独立支援などのサポートもITC-Pro東京としてITC協会と連携をしながら進めて参ります。

オリジナル研修チーム

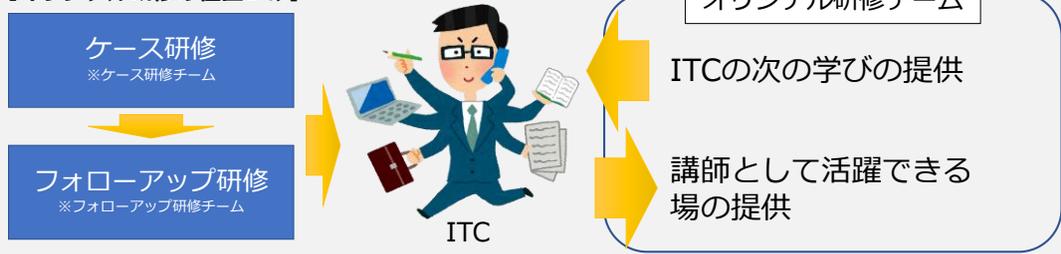
チームリーダー：井上 研一 サブリーダー：阿部 満

【チーム概要】

中堅・中小企業のIT活用の促進及びITCの成長に資する研修の実施。
ITC-Pro東京の知名度向上及び営業活動の一翼となる。

- ① 公開研修・セミナー まずはIoT・AI系の研修・セミナーを実施。
以後、メンバーの経験・実績を踏まえて拡充。
- ② 企業カスタム研修 企業からの要望に合わせた研修の実施。
ITトレンド、企業の事業革新などを想定。

【オリジナル研修の位置づけ】



Copyright 2017 ITC-Pro Tokyo. All rights reserved.

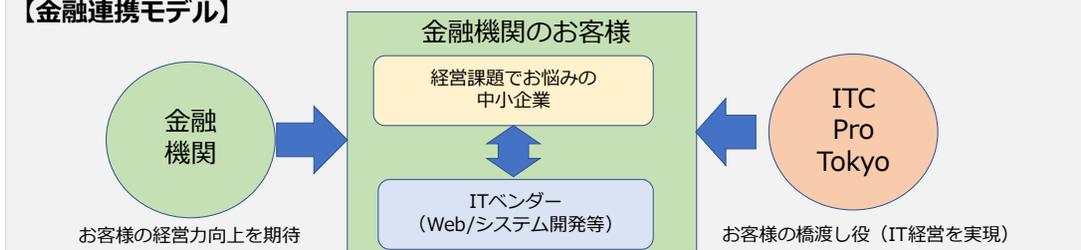
金融機関連携 チーム

チームリーダー：阿部 満 サブリーダー：用松 節子、山川 元博

【チーム概要】

ITC-Pro東京にて金融連携によるビジネス連携を目的とする。
金融連携では金融機関のエンドユーザーからの様々な課題に対してサブリーダーを中心に各メンバー毎にその課題解決に対応する。
金融機関のお客様同士の橋渡し役となり中小企業の経営課題を解決し経営力を向上売上、利益が向上することで金融機関も良くなる（三方良し）。

【金融連携モデル】



Copyright 2017 ITC-Pro Tokyo. All rights reserved.

人手不足対策 チーム

チームリーダー：用松 節子 サブリーダー：川添 智美

【チーム概要】

最近どの企業に行っても相談される人手不足対策について、ITを活用した業務の効率化、人材採用から社員の定着・コミュニケーション強化等、トータルに対応できるメニュー・サービスを提供する。

- ① 業務の効率化 : 業務の見直し・整理、標準化、マニュアル作成など
- ② 採用を増やす : 訴求ポイントの絞り込み、コンテンツ作り、採用が増えるサイト作り
- ③ 退職者を減らす : 社員発言の場作り、社内報編集局のアウトソーシングなど
円滑な社内コミュニケーションづくり
- ④ IT導入資金 : IT導入補助金、ものづくり、小規模企業持続化、厚労省助成金、
東京都などの補助金申請支援

IoT/AI チーム

チームリーダー：井上 研一 サブリーダー：（調整中）

【チーム概要】

IoT・AIの中堅・中小企業での活用を促進し、デジタルトランスフォーメーション時代の「攻めのIT」実現をご支援する。ITC-Pro東京における活動の柱の1つをつくる。

- ① 調査・人材教育 IoT・AIの技術進歩に追随し、具体的な活用法を調査・研究する。
合わせて、IoT・AIに対応できる人材を教育・拡充する。
- ② コンサルティング IoT・AIに注目する企業のニーズに応える。
- ③ 公的事業 IoT・AIは政府や地方公共団体での関連事業も活発であり、取り込んでいく。

【既に活動しています！】



第2回中堅・中小企業向けIoTツール・レシピ募集で、ITC-Pro東京として2つのレシピを応募しました。



オリジナル研修チームなどと連携しながら、人材教育も進めています。



ZExcel チーム

チームリーダー：北園 健一 サブリーダー：（募集中）

【チーム概要】

中小企業に存在する「大量のExcelファイル」を自動集計する事ができるアプリケーション：ZExcelを使用して、お客様の既存システム及び新規業務システムを助成するソリューションを提供します。

【ZExcelとは？】

既存Excelファイルを自在に自動集計し、リストやグラフを簡単に作成できます。http://zexcel.com

- ・大量のExcelファイルをまとめて集計
- ・データベースの知識は不要
- ・**管理システムを簡易構築
- ・写真や画像も収集できる



【最終目的は「Excelデータ集計」→「基幹データベース構築」→「より便利なシステム」へ】

ZExcelの役割はあくまでシステム改善の第一歩です。
本来我々が目指す目的はExcelを超えたもっと先を見据えています。

【ZExcelが目指す最終目的：Excelのもっと先へ】

- ・Excelデータ集計から「基幹データベース」構築
- ・お客様と一緒に業務システムを「育てる」
- ・更に便利なシステムをお客様に提案



FileMaker チーム

チームリーダー：用松 節子 サブリーダー：谷 巖

【チーム概要】

顧客企業のIT経営の実現のために、アドバイスだけではなくITの導入まで面倒を見る体制を用意しておく。その1つの手段として、価格感や変更の柔軟性・モバイル活用等から中小企業に適しているFileMakerによる業務システムの構築を行う。

開発人材の内製化を図るため、教室を開催する。

- ①FileMakerによる業務システムの構築 : 即戦力メンバー・インターン生募集中
- ②教室を開いて、開発人事を養成 : 初級3回、中級5回コース予定
⇒ 開発・設計をしたい方は受講ください。
- ③施工業等業種別対応 : これまでのノウハウを生かし、支援予定。メンバー募集中
- ④お寺プロジェクト : OJT実施中



ERPチーム

チームリーダー：阿部 満 サブリーダー：連携会員から選出予定

【チーム概要】

ITC-Pro東京にて連携会員と連携して中堅企業（中堅企業含む年商30億前後）を中心にERPの投入を目指し活動する。中堅企業では現在も個別最適化されたシステムが導入されており生産性や競争力強化に課題をお持ちの企業が多い。昨今のクラウドの進展やモバイルやタブレットや通信費の低価格化のよって中堅企業でも比較的安価にERPの導入が可能となってきた。ITC-Pro東京ではこのような環境を機会と捉え、高度な専門知識の持つITC-Pro東京のビジネス会員と連携会員により中堅企業のERP導入の支援を行う。

【ERP導入による全体最適化（見える化、共有化、柔軟化）】



ERP導入により第2ステージから第3ステージの全体最適化を行いIT経営ロードマップのイノベーションを創出を目標とする。

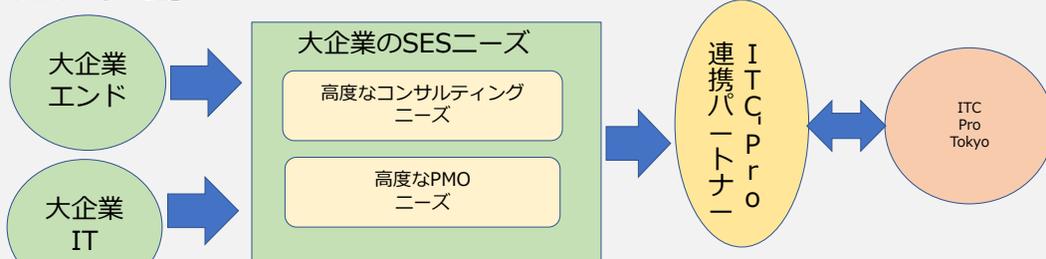
SESチーム

チームリーダー：阿部 満 サブリーダー：連携会員から選出予定

【チーム概要】

ITC-Pro東京にて連携会員と連携して大企業へのSES事業を展開する。ITC-Pro東京のメンバーは大手企業IT企業出身者で高度な能力を持つ人材が多い。そこでITC-Proとしてこうした人材を比較的高単価で高度な知識が必要なコンサルティングやPMO案件に対してアサインを行う。そのために連携会員とITC-Pro東京のビジネス会員をつなぐ橋渡しとしてSESチームが営業等の活動を行う。

【SESスキーム】



大企業とITC-Pro東京の会員の橋渡し役（SESにより高度な大企業のニーズを実現）

今後の予定

ITC協会連携部・中堅大手企業支援部 チーム戦略会議

10月1日（日） 14:00～18:00

開催場所 ビジネス・マッチング・スペース「ictco（イクトコ）」
中野区中野4-10-1 NAKANO CENTRAL PARK EAST 1F

※ITC協会連携は、メインで金融連携、中堅大企業支援は監査セキュリティとERPチームの検討予定。

中小企業支援部 チーム戦略会議

10月15日（日） 14:00～18:00

開催場所 ビジネス・マッチング・スペース「ictco（イクトコ）」
中野区中野4-10-1 NAKANO CENTRAL PARK EAST 1F

※チームに入りたい方、新しいチームを立ち上げたい方お集まりください。

四半期発表会スケジュール

詳細日程が決まり次第、みなさまにご連絡いたします

1月中旬予定 : チーム発表会

4月中旬予定 : 新年度事業計画

7月中旬予定

10月中旬予定

ITコーディネータ ケース研修

私達と一緒に
プロのITコーディネータを
目指しませんか！



第1次

2017年11月13日（月）、14日（火）
12月11日（月）、12日（火）
2018年1月22日（月）、23日（火）

第2次

2017年12月9日（土）、10日（日）
2018年1月13日（土）、14日（日）
2月10日（土）、11日（日）

受講生募集！

2017年度第2期ITコーディネータケース研修開催します。

開催概要

募集期間	2017年9月1日（金）～11月10日（金）17：00まで
コース名	東京【恵比寿】 平日2-1コース
開催日	2017年11月13日（月）、14日（火）、12月11日（月）、12日（火） 2018年1月22日（月）、23日（火）
コース名	東京【恵比寿】 週末2-5 コース
開催日	2017年12月9日（土）、10日（日） 2018年1月13日（土）、14日（日）、2月10日（土）、11日（日）
研修費用	ケース研修費用：21万6千円（消費税込）

<内訳>

受講料20万円（集合研修 18万円、eラーニング 2万円）及び 消費税1万6千円

※ただし、「IT経営体感ケース研修」を外部の認定機関で修了されている方は、19万4千4百円（消費税込）となります。

ITコーディネータの資格取得し、ビジネスに活かしたいという方が
周りにいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。



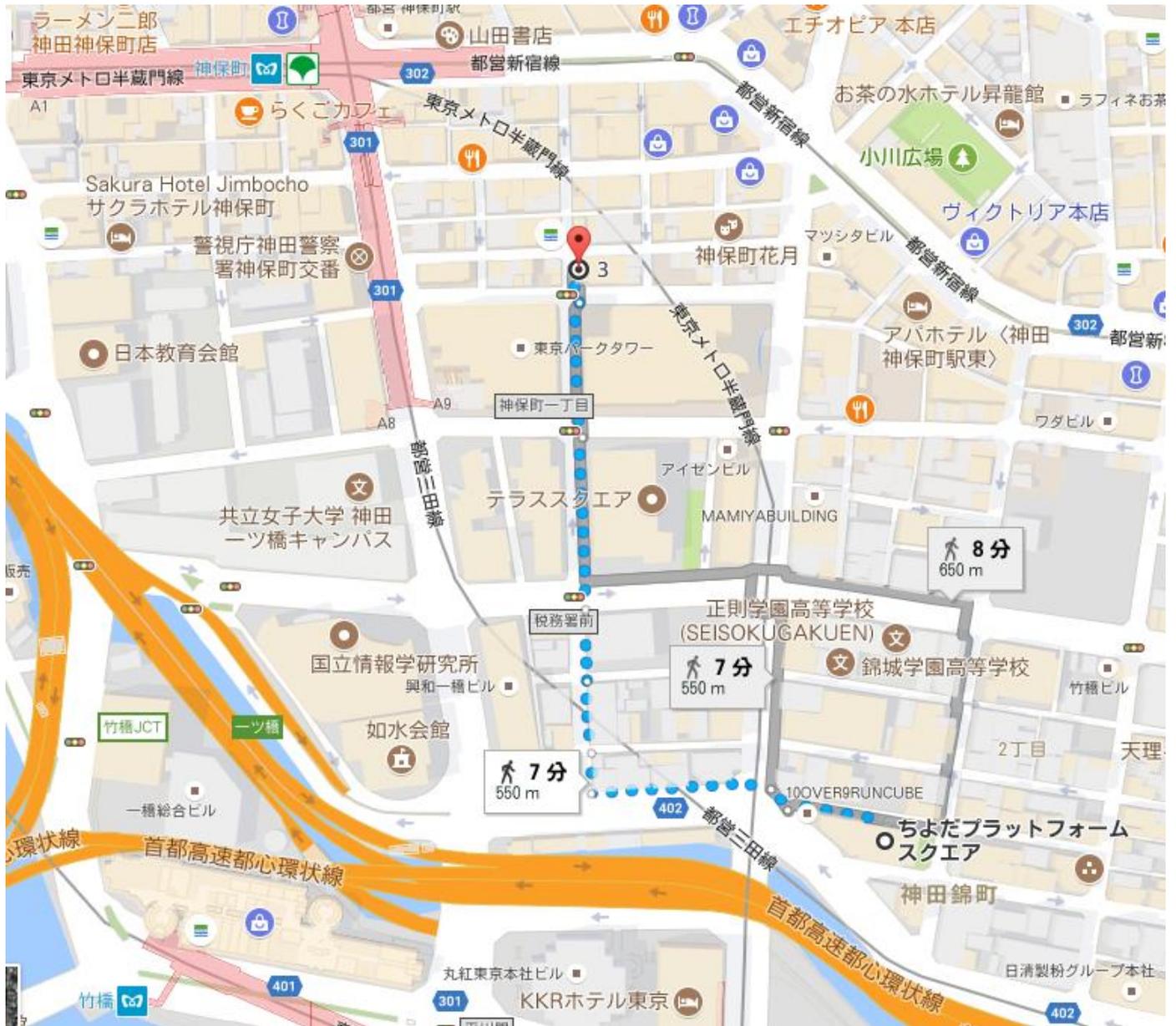
ITC-Pro東京では、IoT・AIや経営に
役立つデジタルマーケティングなど、
最新のIT技術を実践で行っている
内容をケース研修に取り入れています。

17:30~

【懇親会会場】
四川料理 秋 神保町本店



東京都千代田区神田神保町1-37-3 B1





一般社団法人 **ITC-Pro東京**
IT Coordinators Professional Tokyo Association